

骨盤の歪みチェック！

背筋を伸ばして正座し、肋骨の下に親指、
骨盤の上に中指または人差し指をあて
長さを比べます。

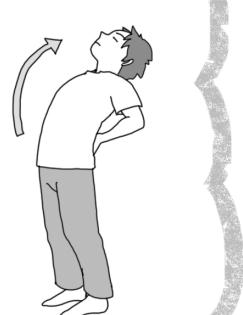


その中の1つに骨盤の歪みがあります。低体温になる原因は色々。内骨盤が歪むと内臓の働きが低下し、そのため、他の部分へ血液を運ぶ量が少なくなります。筋肉が発達しなくなります。栄養がいいかずに筋肉が発達しなくなります。体温を上げることができません。体温度を上げるには、脳の働きが重要です。脳は体温をコントロールしている大事な部分。ここでの働きが乱れると体温調節に異常が起ります。体温に影響があります。骨盤は身体を支える大切な土台。他へ影響する前に整えておきたいですね。



エクササイズ&ストレッチ

足を肩幅に開き、上半身をゆっくり前に倒します。
次に体を起こし、腰に手を当て
今度は上半身をゆっくり後ろにそらします。
前屈と後屈をセットで10回。



ひざを外側に曲げて、脚をW字に開脚します。
少し痛いなあというくらいの位置で10~20秒。
次に脚をひし形に開き、足の裏を合わせ10~20秒。



膝や背中が床か
浮かないよう



ストレッチを行っていて、痛みが強い、違和感がある、といった場合には自己流で続ける前に、治療院で一度ご相談下さい。



本格的な高地登山や雪山ではなくても
油断するとあっという間に
体温を奪われてしまう事があります。
ハイキングで登っているときは
身体が熱くなり汗をかきますが
休憩中や下山中に寒気にさらされると
汗が冷え、風が濡れた身体にあたり
体温はみるみる低下します。

正解は③のハイキング。



低体温改善には運動が重要ですが、次の中に、気をつけないと深刻な低体温症になってしまうスポーツが入っています。一体どれでしよう？

健康・美容の3択クイズ!